川崎市 PPPプラットフォーム意見交換会 実施結果概要

事業名	民間事業者の活力を活用したちどり公園へのスケートボードパーク等の整備について
事業所管課	市民文化局市民スポーツ室若者文化推進担当、港湾局誘致振興課・経営企画課・港営課
意見交換会実施日	2024年11月22日(金)、26日(火)、28日(木)
参加事業者	全9社
対話方式	個別対話
意見交換会における主な意見等	
①運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・土地を借り受けただけで、民の事業として運営したいと考えているが、賃料は安い方が良い ・ちどり公園に限らず、スケートボードパーク単体で収益を得て事業化することは厳しい。整備費を除いたとしても行政の支援なしでの黒字化は困難 ・企業協賛を募る、世界大会の実施等でTVやデジタル媒体の放映権を獲得するなどの検討が必要 ・直営は厳しく指定管理やPFI事業であれば参画できる可能性がある ・PFIなど運営事業者の意見を反映できる手法をとることが重要
②スケートボードパークについて	<ul style="list-style-type: none"> ・国内にパークが増えているため、ここにしかない特徴あるスケートボードパークを建設することが必要で、デザインが非常に重要となる。周辺施設のリサーチを行うとともにスケーターの声を取り入れ、具体的な特徴を設計段階から明確にすることが大切 ・階段や園路などの現状施設をスケートボードパークに活かせると独自のパークができる。ちどり公園をアーバンスポーツに特化した公園にするのも良い ・園路も滑れるようにすると魅力が増す。歩行者エリアを滑りにくい地面にするなど、路面のデザインや材質を工夫するだけでスケートボードエリアとの区分けが可能 ・スケートボードエリアを柵などで区切るのは望ましくない ・近隣の民間事業者（スケートボードスクール運営者等）と連携することが必要 ・スクール事業などは立地的に成り立ちにくい ・夜間利用のニーズがあると思われ、ナイター照明等があると良い

川崎市 PPPプラットフォーム意見交換会 実施結果概要

意見交換会における主な意見等

<p>③複合施設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業と複合施設にすることが賑わいを生む ・駅からの立地を考えると、日帰りではなく宿泊できるようなキャンプやグランピング施設を複合すると良い。海釣りなど他にはない特徴を活かすことが必要 ・アクセスに課題があるが、サウナやブックカフェなど、風や海を感じながら楽しめるような、目的の異なる素材をちりばめるとよいのではないか ・複合施設としてドックランやRVパークはニーズがあると思われる ・簡易な宿泊施設や朝まで滞在できるような施設などがあると良い ・複合施設を検討する上で、電気・火気・上下水道の利用ができると良い ・キャンプ場としての運営を考えると、人工的なものを感じる要素が多い。特に、スケボーパークがナイト営業を行うようなら、その明かりや喧騒が雰囲気や景観を阻害することになる ・バーベキュー場は近隣の公園と競合する上、立地的にはちどり公園の方が悪いため厳しい
<p>④附帯・園内施設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場はスケートボードパーク単体であれば、現状の区画を整理しなおして、止められる台数が一定程度増えれば、拡張までする必要は無い ・国際大会を行うのであれば駐車場を拡張し、平常時は多目的広場として活用すると良い ・駐車場については、照明を明るくした方が良い ・現状のトイレは改修が必須 ・公園内の植栽への手入れが必要 ・北側エリアはスケートボードに乗って移動できる道にすると良い ・周辺に飲食店がなく、来場者が飲食できる又は、購入することができる環境が必要 ・スケートボードのカスタムやメンテナンスをできるショップの併設が必要。受付やスクールの機能を備えれば利便性が向上する ・市街地の公園で禁止されているような火気やボールの使用を可能にすることで、ちどり公園に足を運ぶきっかけになる
<p>⑤その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ちどり公園の非日常感は高く評価できる。イベント実施するには良い ・アクセスについて、自転車や電動キックボードのシェアリングサービスの導入等バス以外のモビリティの充実が必要

※上記内容については、参加者の承諾を得られたもののみを公表しています。

【問合せ先】

市民文化局市民スポーツ室

電話：044-200-1722

メール：25sports@city.kawasaki.jp